

令和5年度県立夜間中学設置準備等に係る懇談会（第1回）会議録【概要】

1 日時 令和5年6月2日（金） 午後2時から4時まで

2 会場 県庁第2庁舎9階 21会議室

3 出席者 別添名簿のとおり

4 内容

(1) 報告 ※資料に沿って説明。質疑等は以下のとおり

ア 校章案について 質疑等は特になし。

イ 教育課程の編成・調整について

委員	・0校時と4校時は同じ授業ということだが、その0校時に個別の指導とか補習学習を受けると、0校時の授業が受けられないのでは。
事務局	・0校時の使い方は2通りを想定。一つは、0校時に4校時と同じ正規の授業を受けるとのこと。もう一つは、個別の学習で自分が勉強したい内容を（0校時の）教科に特定せず、補習的に時間を過ごす形を想定している。

ウ 学校説明会・体験授業会及び相談会キャラバンについて

委員	・キャラバンは予約があるか。開催方法は場所によって違ってくるのか。
事務局	・事前の申し込みをお願いしているが飛び入りも可。基本的にはチラシについている申込用紙をFAXするとか、電話するとか、インターネット上で鳥取県の電子申請サービスでの申し込みといった方法でできる。申込期限が過ぎていても相談があれば対応させていただく。
	・市町村教委に開催方法等について照会をかけ、どのような方法が可能だろうかということで回答をいただいた。体験会が開催可能なところもあれば、説明会だけというところもあり開催場所により異なっている。
	・入学を考えておられる方、対象になられる方に、いかに届けるか本当に重要。（昨年度の体験授業会に）参加していただいた方の中で、実際に夜間中学に通ってみたいという声も伺っているので、個別にかなり具体的にアプローチし、話をさせていただくことが、これから一層求められるので、（委員のみなさまにも）ご協力をお願いしたい。

(2) 協議 ※資料に沿って説明。主な意見、質疑等は以下のとおり。

ア 学校教育目標等の検討について

イ 年間行事予定について

} 併せて協議

委員	・ビジョンはとても共感するところがある一方、ダイバーシティといったときに外国籍の方がいる中で、ふるさと鳥取という言葉が強調されており、あえてここまで書かなくてよいのではないかと思う。強調されるのなら、社会と地域とつながるといのはいろんな形があるということがわかるとよい。
事務局	・「生き抜く」という言葉は昨今、いろんなところで出てきているが、「しなやかに生きていく」としてはどうか。「生き抜く」の表現は少し辛いかと感じた。
	・県教育委員会としてふるさとキャリア教育は1丁目1番地といったところもあり、そのキーワードを使っている。確かにいろんな方がおられる中で、少し考慮した形を考えたい。
委員	・鳥取以外にルーツがある方の「ルーツ」というものも尊重する必要性が非常にあると思っている。（鳥取とともに）どちらも大切にするという姿勢が見えるような表現がいいかなと思う。

事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・再検討し、(ビジョンについて) 練り上げていきたいと思う。 ・夜間中学ならではの(学校行事として)、天体観測をしている夜間中学がある。夜ならではの学校行事をうまく取り入れていけるとよい。 ・(鳥取大学) 大学生との交流ということについて。今年度から大学の講義の枠の中で、近隣の高校や学童保育などに行くようなものを作りつつある。0校時(への学生の参加)は連携しやすいところもあると思う。一存では決められないが、試験的であれば来年度から可能かも。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何か具体的に詰めていけたらと思うので、窓口を教えていただき相談したい。 ・夜間中学に入学すること自体、少しハードルが高い方もおられる。このようにやわらかくビジョンを作っただけであれば、すごく説明もしやすいし、よかったなと思う。一方、いろいろな理由があって、もう一度自分を肯定し、あるいは他者から肯定してもらいたいというようなお気持ちもある中、もし本当に勇気を出して学校に通うとなれば、本当に配慮していただけるのだろうかということも、加えてお伝えができたかなと思っている。補習とか、個別というようなことの意味合いで、「配慮できます」「個別対応ができます」というような一言がいただければよいと思う。一人ひとりに合ったということも文面にはあるが、その辺りに一番過敏に反応されるのではと思っている。個別授業ができるのかどうかということは、情報提供に大きく関わっていくと思っているがどうか。どれぐらいの人数が教室に入るとプレッシャーになるかは、本人でないとわからないところがある。(プレッシャーを感じたときは) 個室やちょっと緩やかな場所があるとよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・正直そこまでなかなか詰められてない部分ではあるが、個に応じた学習計画を考えたい。入学者募集と関係するが、キャラバンで体験会や説明会を数多くする理由というの、何度か顔を合わせることができたならば、そこで入学に関して話を重ね、入学決定後は、個別の学習計画を本人と一緒に立てていく。実際、どのくらい教員が配置されるかということもあるので、毎時間、何人も個別対応というのは苦しい部分もあるが、例えば、クールダウンするために、一室は空けるといことも考えていける。場合によっては一斉授業の場とは違う形で、別の部屋で学習ということも少し想定をしているところ。現実的に100%の対応にならないかもしれないが、そういった配慮は何かしらやっつけていこうと考えている。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供していく場合に、少し配慮をいただけそうだと話せられたらと思う。 ・引きこもりで、なかなか外に出られないが夜間中学に行ってみたいな、ちょっと体験してみたいなという方はおられるはず。この体験会の際も、一緒に参加するだけでなく、別室も用意し、保護者の方や支援者の人と一緒にオンライン等でつないで体験授業の様子を見ていただけるので、その辺りも伝えていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標について、表現が包括的すぎて伝わりにくくなっているので、ある程度具体性を持たせた表現をした方がインパクトのあるものになる。 ・教育目標の中の(3)「その一員である大切な自分を実感する」というのは、表現が弱い気がする。「大切な自分の存在を知る」など、強めに表現してもよい。 ・(2)で、変化に富む社会の中を「生き抜く」の部分では、県立まなびの森学園での生活の中で「生き抜く」力をつけることを表現しているのか、卒業後の「生き抜く」姿をいっているのかわからないので、「社会の中を生きていく力を身につける」とすればわかりやすいのではないか。 ・学校行事という表現に縛られすぎないことも大切。例えば国際交流で来ている外国籍の人と一緒に、外国語の中で活動して言葉を教え合うとか。また、大学生に来ていただき、大学で何をやっているのかについて発表する機会を設けることも考えられる。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事をたくさん取り入れていこうと思うと、授業を圧迫するような部分もあるかと思う。逆に、通常の授業の中で、体験だったり出かけて行ったりというような多様な学び方を盛り込んでいると、ただ学校に行って先生の話の聞いただけでは取組の充実度が生徒にも伝わっていくのではないかと考えた。ただ、あまり外の人が入ってくるというのが、充実につながる反面、(引きこもり等の人には)余計にハードルとなってもいけない。 ・手探りで準備は進めつつ、実際は臨機応変に柔軟に考えていきたい。 ・たくさんご意見を頂いた。改めて事務局の方で練り上げていき、実際は学校設置後にもっと具体化する形になると思うが、方向性としては大体よろしいという認識でよいか。コンセプトを残しつつ、新たな枠組みを肉付けしていくよう考えていきたい。
-----	---

ウ 学校運営協議会の設置準備について

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の地域の捉え方だが、夜間中学の想定される多様な生徒に多様な仕掛けが必要だと思うので、何か意見が聞けるような人たちのつながり、専門家がいるとか、いっぱい人がいる形で助けてもらえるような人を委員に選んでおくと、学校は運営しやすい。そういう感じで選んでいけたら、地域というよりは、学校が活動していく上で関係のある人、という形で地域を捉えるとよい。 ・(学校運営協議会に出席した経験から) 学校の取組に対して意見というような形で終わっている。意見だけでなく、(関係機関等に) つないでもらえる方とか、いろんな仕掛けを進めるために専門家であったりとか、実際に動かれるような方だったりというイメージもおおいにあるなど感じた。 ・(学校運営協議会に出席経験から) 出口(卒業)のところ、就労先を見据えた方が委員に入っている。それから国際交流関係の方々がとても必要になってくると思う。特に新しい試みなので、身近な地域は必要だと思うし、地域をどこに設定するのだが、国際というのも地域に入ってくるのでは。そういう部分で、キーパーソンになれる方が入るとよい。 ・みんな何かしらの形で生活しているわけで、その生活につながるころ、学校以外の場所、家庭以外の場所がすべて地域かなと思う。学校を運営する上で大きな目標があり、より充実した事業をすとか、そういった上でたくさんの協力者が関わることになると、学校が巻き込みたいと思う人はすべて入れていかれたらよいのではないか。 ・地域の社会資源が本当に豊富なほどよいと思う。ソーシャルワーカーのような方の団体であるとか、相談業務といった方も入られるとよい。(委員候補を) 洗い出してみても絞り込むというのもよいかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局としては本当に巻き込みたい人には、今後、開校に際し、ご相談、お声掛けさせていただきたい。委員のみならずにも力を貸して下さるようお願いする。

(3) 連絡 ※資料に沿って説明。質疑等は特になし。

ア 県立夜間中学開校までのスケジュール概要について

イ 令和5年度の懇談会の予定について

ウ その他今後の懇談会の予定について